



私 = 「」

今、君が読んでいる KSCE 通信は本来なら約 2～3 週間ほどの執筆期間がある。しかし、締め切り 1 週間前に所長から突然連絡があり、何か書かないかとご提案を頂いた。時間が無いのにも関わらず頼まれるということは、よほど私に書いてほしいのだと勝手に妄想し、筆を進めている次第である(失礼。

今回は、夢や自分の目標・目的のお話。

授業や講義では夢の探し方など教えてくれない。その中で自分の成し遂げたいこと、夢、目標を見つけるのは実に難しい。今こうして私が自分の夢を見つけられたことは幸運だと思えます。

私は、自分の夢を見つけるために必要なことは 2 つあると考えています。大したことではありません。たった 2 つのことです。

1 つ目は、過去を振り返るということです。

私はこの度、心の悩みを抱えている人のためのメディア(インターネットサイト)を作ろうと考え、東京へ移住することにしました。ではなぜ、そう考えるようになったのか?それは私の中学時代にまで話が遡ります。

体が小さく、気が弱かった私はよく嫌がらせを受けていた。いわゆる、いじめられっ子というやつです。なぜ自分はこんな目に合わないといけないのか、自分はどこか変なんだろうか。当時の私は、明るる日も明るる日もそんなことばかり考えていたのをよく覚えています。

また、学年が上がり中学二年生になった頃、仲の良い後輩ができました。今思えば、その子は僕によく似ていたのかもしれない。話す内容、悩み事など何かと合うことが多かった。時間が過ぎていくと互いに信頼を寄せ合っていたはずでした。

しかし、その後輩は少しずつ学校に来なくなり、1 年が過ぎた頃には全く姿を見なくなりました。その時のショックは今も忘れら

れない。何でも話し合っていた、頼りあってた仲だと思っていたけれど、私はその子を何一つ支えてあげられていなかったと実感したのです。

なぜ人は悩まないといけないのか。生きていくのに苦しまないといけないのか。その答えを知りたくて、私は大学で心理学を学ぶことを決めました。

心理学の授業は実に興味深いものでした。認知、発達、臨床、生理。様々な分野の心理学を学びましたが、その中でも臨床心理学は特に面白い。その時学んだ話の聞き方を、今でも私はよく実践しています。

知りたい知識がすぐに手に入る、実に有意義な時間を過ごしていました。しかし、大学 3 年生になる頃、私に転機が訪れます。その頃、スマートフォンの性能は初期より飛躍的に高くなり、どんな情報でも一瞬で知ることができていたのです。手元に 5 インチほどの端末があるだけで。

今では当たり前かもしれませんが、中学の頃からネット世界を見てきた私からすれば、それは大きな感動でした。私はインターネットに興味を持ち、自分でも情報を発信したいと考えるようになったのはその時からです。

まるで狂ったようにボールを追い回す犬のようでした。それまで学んできた心理学のことなど忘れ、ネットについての参考書を読み漁り、自分でサイトを作り、可能な限り勉強会やセミナーに参加していたのです。

「今までの心理学に対する熱意はどこに行っただ!」とあの頃の私に問いただきたいほどです。しかし、それほどまで、私はインターネットというものに熱中していました。

そして、そのままサイト制作会社に入社し、現在はホームページの制作や運営に携わっています。もうすぐ入社して 2 年経つのですが、ふと疑問に思ったのです。

私は誰のために、何のために情報を伝えているのか。

今までただ目の前のことを我武者羅にやってきましたが、冷静に考えてみると私は結局のところ何になりたいのか、どう生きていきたいのか、明確なビジョンというものがないような気がしたのです。

私は自分に問いかけます。もし、今の状態が死ぬまで続くとしたら、私は納得して死を迎えられるだろうか。しかし、私は素直に「Yes」と答えることができませんでした。

ならば、私は本当のところ何をしたいのだろう。すると2つの過去を思い出したのです。それが「支えられず後悔した中学時代」と「インターネットに熱中した大学時代」です。

その2つを思い出した時、私は今まで培ってきた心理学の知識とネットの知識を使い、人の心の悩みを解決したい。それこそが私が目指すものだ、使命感のようなものが心の中に生まれたのです。

2つの出来事が1つの夢になるとは思ってもいませんでした。私が中学時代に不登校やいじめについて経験しなければ、心理学を学ぶことはなかっただろうし、大学時代にネットの面白さに気づかなければ、現在の職に就くこともなかったかもしれない。

しかし、今思い返すと、それらは1本の線上にあったのです。

神の所業でなければ、何も無い状態から生み出すことはできない。それは夢においても同じでしょう。

私たちには、長かれ短かれ人生という材料があります。過去に熱中したこと、感動したこと、充実感を覚えたこと、心に決めたこと、憧れの場所、尊敬した人。それらの点の一つずつ結んでいくと一本の線になります。

その線は、先々にある私たちの未来をしっかりと示してくれるのです。その未来こそが私たちの目指す夢や目的になると考えています。

2つ目は行動するという事です。

私たちはまだタイムマシンを持っていな

い。だから、未来や将来がどうなるかは誰にも分かりません。可能なのはただ想像する事。しかし、絶対に想像通りになるという事はない。

「自分に何が向いているのか、自分は何がしたいのか」それらを知るためには、結局のところ実際にやってみて実感するしかないと思うのです。

私はその時したい事をやってきて、奇しくも1つにまとまり今の夢ができたわけですが、それは1つの結果に過ぎません。

ここには書いていませんが、私が今までしてきたことの中で何も将来に繋がらなかったもの、失敗したことは数多くあります。

しかし、それも1つの結果。自分には合わなかった事、挫折や失敗した経験は、人生の進路を修正する材料になり、決して無駄ではありませんでした。

むしろ、その失敗や挫折の経験こそが、自分が本当に大切にしているもの、なりたい自分などの将来像を明確にしてくれたのです。

何か1つ行動しようと思うと、上手くいくかどうか不安に思う事が多いでしょう。実際に私もそうでした。しかし、行動して思ったことは、何もしないよりも実際にやってみた方が得るものが多いということです。

未来が分からないからこそ、私たちは今の行動が将来につながると信じてやっていくしかない。どんな結果であれ、そこで得た経験は必ず自分の力になります。

何のために生きているのか、自分の夢とは、目的とは。どれも答えを出すのは極めて難しい。おそらく、世界中の学者や知識人など誰に聞いても、その答えは点でバラバラ。もしかしたら答えなんてないのかもしれないね。

だからこそ、私たちは自分の足でその答えを探る必要があるのです。もし、辛くなったり、一人じゃどうしようもできなくなったら、周りの誰かやKSCE(ステマじゃないよ!)を頼ればいい。そうやって、少しずつ前に進んでいけばいいと思います。

私の話が必ずしも正解ではありませんが、少しでも皆さんの力になればと思います。
Thank you for KSCE (北岡 勇人)

「おたく」な思い出

最近学年末を秋に設定する大学も出てきてはいるが、今のところ、春というのは、卒業と入学の時期……

新たなる出発に向けて充実した生活を考える人は多いだろう。

『めざせリア充』……リア充って……このコトバは、いつの間に一般用語になったんだろう……。

元々は巨大ネット掲示板に集う人たちの一部が自分の生活状況を被虐的に表現するときに対話として使っていたのが「リア充（リアル生活の充実した状態）」だったと思う。

そういえば「オタク」というコトバは、今となっては完全に一般用語になっていて、改めて調べようという気にもならないけど、これも「インターネットコトバ」が発祥のように認識されている。

「オタク」はネット発祥なのかもしれないが、「おたく」はそれ以前から存在していたと思う、それが印象に残っているのは、「おたく」というコトバと出会って、どういう意味で使われているのかを知ったときに軽く衝撃を受けたのを覚えているからだ。

1973年から1974年の頃に「マンガ（雑誌・アニメ）やプラモデルのことばかり話題にする変な奴ら」が相手に呼びかけるときに「おたくは……」って言うから、そいつらの事を「（陰で軽蔑の意味を込めて）おたく」と言うんだよ……という話を耳にした。

今では「キモオタ（気持ち悪いオタク）」というコトバが有るので、「オタク」の中に「気持ち悪くない」人も含まれるようになってきているのかも知れないが、元祖の「おたく」には「もれなく気持ち悪さと普通じゃない感」が含まれているという印象だった。

「オタク」というとパソコンとかネットのイメージも付いてくるが、「おたく」というコトバを耳にした時代には「形のあるパソコン」は目にしたことが無かった。

その頃のコンピュータというのは、巨大な奴で大学などに「計算センター」という建物があって、その中に1フロアを使って配置されているようなものしか無かった。

私の経験でもコンピュータ（パソコンでは無い）に触れたのは1975年で、この時にはプログラムを「コーディングシート」という緑色の独特の升目で区切った紙に手で書き込んで、それを持って計算センターへ行って、そこでキーパンチャーというタイプライターみたいなので紙に書いたプログラムを打ち込むと、紙テープに穴が開いた物が出てきて、その穴の開いた紙テープをリーダーに入れると初めてコンピュータがプログラムを読み込んで計算結果をいっぺんに一行印刷するというラインプリンターという物で打ち出して来るという状況だった。

だから「おたく」が「コンピュータ」に関心があったとしても、気軽に触れることのできる存在では無かった。

そして、この時代はインターネットという物は存在したが、一般に浸透するはるか以前の状態で、巨大ネット掲示板など存在しなかった。

私のコンピュータ経験は、その後8ビットパソコン（MZ-731）から16ビットパソコン（NEC：9801F）へと展開するのだが、それは「おたく」の思い出のメインからは外れるので「軽く衝撃を受けた」という話に戻ろう……。

1970年の頃に、私は相手に呼びかけるときに「おたくは……どう……」などと言うことがあったのだ。

よく知っている人に対しては「〇〇君は……」とか「〇〇さんは……」と直接、名前やニックネームで呼んでいたのだが、例えば「学校のクラスの友人がよく知っていて、何度か顔を見たことのある隣のクラスの奴」というような距離感の人に声をかける時に「おたくは……どう……」と言っていた。

その時の感覚を思い出してみると、「君は……どう……」と言うと「先生が生徒の意見を聞いているみたい」な感じで（その頃だったらどんなコトバで表現しただろう、今風の表

現だと)「上から目線で話している」感じがして使いにくかった……、「あなたは……どう……」と言うと、「ドラマで女性が恋人や夫に言うセリフ」という感じがして、やはり使いにくかった……のだろうと思われる。
じゃあ、どうして「おたくは……どう……」というコトバを選んだのかということ、これはハッキリ思い出せる……テレビの影響だったのだ。

その頃、テレビで「0011 ナポレオン・ソロ」というアメリカのスパイドラマを見ていて、そのドラマの中で「主人公のナポレオン・ソロ (俳優：ロバート・ボーン 吹替声優：矢島正明)」が相棒の「イリア・クリアキン」に声をかけるとき「おたくは……これを調査して……」と言ったり、敵とやりとりする場面でも「で、おたくの目的は……」などと言っていたのが印象に残っていたのだ。
これを結構熱心に見ているうちに「おたく」という言い方が自分の中に浸透してしまっていたのが要因だったと思える。

でも「ソロのことがセリフを真似る程に好きだったのか」というと、そうでも無かった……実は時々ドラマに登場する拳銃が魅力的で見ていた……最近だとアニメ「ルパン三世」でルパン愛用の銃として登場する「ワルサーP38」という物だが、ナポレオン・ソロの中ではこの拳銃の銃口にマズルブレーキという部品がついていて、普通の状態のP38と少し形が違っていた。

さらに、めったに登場しないのだが、グリップにパイプと肩当てを取り付け、銃身を延長するロングバレルをねじ込み、スコープを取り付けて、大容量のマガジンをセットすると拳銃がカービン銃(ライフル風の物)に変形する……いかにもスパイドラマの小道具という感じで、その登場を期待して見続けていた。

(まあ、確かにドラマの人物より小道具に魅力を感じていたというのは「おたく」的だったとも思える。)

で、人間関係で微妙な距離感の相手に「おたくは……」と呼びかけていたのだが、先に書いたように「相手をおたくと呼ぶのはマンガ(雑誌・アニメ)やプラモデルのことばかり話題にする変な奴ら」と認識されるらしい……と、知ってからは「おたく」を使わなくなった。しかた無く、しばらくは「そちら、さんは……どう……」などと言っていた時期もあったが、それなりに年齢を重ねると「あなたは……いかがですか……」と言っても自分が人妻になったような気分になることは無くなった。

「リア充」というコトバはインターネットによる情報の氾濫が影響しているような気がするということや、「おたく」が「オタク」に変わっていく経過の中にも、コトバの拡散(一般への浸透)によるイメージの変化やインターネットの普及が関係しているように思えるという「話の種」があるのだが、それについては、もし機会があれば……ということにしましょう。
(高石 公資)

ものづくりかふえ

☆2月17日

受験シーズンの時期なのでこんな感じで作ってみました。

4月からは実施時間を15時からに変更いたします



イベント紹介・報告

☆2月1日

恵方巻き・豆まき

☆2月3日

節分祭・豆まき

3日の節分祭は参加者集まらずで実施できませんでしたが1日と3日の2回豆まきをしました。鬼役に向かって豆を投げるときは皆元気が良くなってある意味ストレス発散のように・・・(笑)あと1日では恵方巻きも食べました今年の恵方は北北西。1年いい年になりますように。



☆2月4日

スケートに行こう

3年越し?の実施できました。皆気持ちよく滑って楽しめた・・・と思います。



☆2月11日

集い場

通常の集い場は3月で終了となります。参加してくれた方はゆっくり過ごしたり、話したり、カルムをしたり楽しみました。

☆2月15日

集い場〇活字倶楽部

2月は「虫食いになっている物語を完成させよう」というテーマで作品を作りました。土台となる物語はあまり知られていない物の方がいいかなと思い、「かえるのおうさま」という童話を題材にしました。これを一部()にして、そこに各自で言葉を入れました。そして、結末も考えてもらいました。私では思いつかないような発想で穴埋めしてくれ、新鮮でした。楽しく笑いながらの作品発表となりました。長い作品となりましたので、残念ながら作品紹介は割愛させていただきます。KSCEにはありますので、興味のある方はスタッフまでお声掛けください。次回は4月12日に実施予定です。

☆2月16日

健康体操教室

この体操で少しでも体が柔らかくなったりすっきりしたりしていただけると幸いです。毎月実施しています。



☆2月21日

ヒーリング体験

健康体操教室の中でも実施しているヒーリング棒を用いたマッサージなどの体験をしてもらいました。少しでもすっきりしてもらえたらいいなと思います。

お知らせ

☆ 機関紙の購読または設置していただける方を募集しています

- ・当所の活動報告を行う機関紙「KSCE 通信」や案内三折パンフレット・各種活動チラシ・同居団体個別指導学習塾「個別教育予備校 MES」の三折パンフレットなどをおいていただける方・場所の情報を教えていただける方などを募集しています。
- ・個人で機関紙を購読という形でご支援いただける方募集しております。機関紙購読は送料込みで年3600円でご支援をお願いしております。メール添付による個人の方は2400円・関連団体や連携団体の方は原則無料で送付させていただきます。
- ・機関紙に広告を掲載させていただくことでの広告料という形式でのご支援も募集しております。
- ・機関紙は紙面による配布とPDF形式によるメール添付形式で行っております。

☆ 賛助会員・寄付会員を募っています

賛助会員は12000円/年

寄付会員は金額は任意です。どちらの会員も機関紙による活動報告をさせていただき、会員の種類・金額により、ものづくりかふえ活動での手作り品のお礼をさせていただいています。寄付会員の方は、良ければ機関紙に寄付の方のお名前を掲載させていただけると幸いです。

☆ 物品寄贈も随時募っています

衣類・雑貨・書籍など市役所前フリマに出店して販売できるものを随時募集しています。ゴミの減量目的のリユース活動として、フリマの収益は当所の運営に充当させていただきます。NPOの苦しい会計の手助けをしていただけると幸いです。また当所の学修サポート・フリースペース提供・フリースクール活動で使用できる教材・赤本・高校卒業程度認定試験対策問題集・教科書・教科書ガイド・問題集・マンガ・小説・知育玩具・パズル・ボードゲーム・カードゲーム・スポーツグッズ・収納関係（要事前相談）・OA機器・OAサプライ等を随時募集しています。宅急便（費用はお願いしています）・持ち込みなどをお願いしております。徒歩圏内は台車でのお伺いも可能です。賛同していただける方は電話・メールでお申し出ください。もしよろしければ、通信による活動報告や、通信へのお名前の記載をさせていただけると幸いです。

東京都 匿名様 伏見区 匿名様

より寄贈いただきました。ありがとうございました。

（お名前掲載の許可をいただけた場合には氏名で掲載させていただきます）

○ 京都教育サポートセンターの活動をご支援ください

ボランティア募集・物品寄贈・賛助会員・寄付会員・などのお問い合わせはお気軽にお申し出ください。電話（075-211-0750）は火曜日～土曜日の11時から18時（時間外も代表在中時は対応いたします）メールは24時間受付 soudan@ksce.jpn.org まで。

臨時休業のお知らせ

2017年4月6日・13日・27日木曜日は特定非営利活動法人京都教育サポートセンターの年度末決算会計の作業のためとスタッフ体制の状況からお休みとさせていただきます。ご迷惑をおかけして申し訳ございません。

なお、予約による個別相談・個別教育予備校 MES の学習サポートは実施いたします。また、スタッフ体制が早期に整った場合は実施方向にいたします。その場合はブログ・フェイスブックページ・代表 SNS ・事務所内掲示にて告知いたします。

2017 年度集い場について

2014 年度から 3 年間、京都市による NPO 等民間団体の子ども・若者支援促進事業の助成を受けて実施してまいりました。今年度からは助成が終了し、完全自主運営でのこの事業を実施するにあたって下記のように予定しています。

1. 通常集い場（フリースクール運営日以外での無料居場所提供）は終了いたします。集い場は利用生以外でも参加可能なよう広く受け入れるための活動なのですが 3 年間の実施の結果、内部生または OB 生などの利用が大半であり、広がりにくいという結論となったためです。

2. 集い場○（サークル）活動に関してはサークルの体系をリニューアルし、2017 年度も継続してまいります。また一部サークルに関してはサークル運営のための参加費が発生いたします。ご了承ください。詳細は集い場○専用のチラシを作成いたしますのでそれをご覧ください。

3. 集い場○ 2017 年度当初の予定

○散策部（旧バスで京都散策）4月8日初回ミーティング

○学食 walk 4月14日初回ミーティング

○ものづくりかふえ（集い場○事業に編入）毎月第3金曜日 15時～16時半に変更

○健康体操教室（特に変更なく実施します）次回4月20日木曜日予定

○レクリエーション部 A（仮）旧麻雀部を拡張してカルムやゲームをすることも含めたサークルとして実施予定です。

A は事務所内でできるレクリエーションを取り上げるカテゴリとして

5月以降で B（出かけるインドアカテゴリ）と C（出かけるアウトドアカテゴリ）も計画したいと思います。

4月22日土曜日に初回実施をする予定です。

※各サークルとも年間実施回数は3月9日現在では未定です。またサークル内容やサークルそのものも活動状況を踏まえて変動していきますのでご了承ください。（変更の際はブログ・フェイスブックページ・代表 SNS ・事務所内掲示にて広報いたします）

編集後記

特定非営利活動法人京都教育サポートセンターは16年目の活動に入りました。これも皆様のご支援の賜物であります。

今後も当所の活動にご理解・ご協力・ご支援を宜しくお願いいたします。

（南山 勝宣）

2017年 4月

日	月	火	水	木	金	土		
						1		
2	3	4	5	臨時休業	6	7	8	集い場〇散策部 ミーティング
9	10	11	12	臨時休業	13	14	15	集い場〇 学食 Walk ミー ティング
16	17	18	19	20	21	22	22	集い場〇 レクリエーショ ン部(仮)
23/30	24	25	26	臨時休業	27	28	29	GW 休業

4月

(3月9日
時点の予定)

6日・13日・27日(木) 臨時休業
個別教育予備校 MES と予約分の個別相談・カ
ウンセリングは行います。個別相談・カウンセ
リングは前日までに申し込みください。(心
理士高石先生は1週間前までにお申し込みく
ださい)

8日(土) 集い場〇散策部(仮)(旧・バスで
京都散策)ミーティング14時半から。参加費
無料。今年度の計画なども考えます。 ※今
年度から散策部はミーティング参加者と未参
加者で実施日の参加費が異なります。

9日(日) お花見兼ピクニック
桜の開花によっては内容変更いたします。
詳細はブログ・フェイスブックページ・代表
SNS 事務所内掲示にて告知いたします。

12日(水) 集い場〇活字倶楽部
15時半から詳細等はブログ・フェイスブック
ページ・代表 SNS 事務所内掲示にて告知いた
します。

14日(金) 集い場〇学食 walk ミーティング
15時から 参加費無料

※今年度から学食 walk はミーティング参加者
と未参加者で実施日の参加費が異なります。

16日(日) 特定非営利活動法人京都教育サ
ポートセンター社員総会 10時半開始。正会
員様とスタッフが対象です。

20日(木) 集い場〇健康体操教室
参加費無料

21日(金) 集い場〇ものづくりかふえ
参加費無料 今年度から15時開始とさせていた
だきます。16時半までの実施です。

22日(土) 集い場〇レクリエーション部(仮)
カルム・麻雀・ゲームなどレクリエーションを行
う方向です。参加費 内部・アポロ 1000円
その他 200円
(集い場〇での運営費用としていただきます)

23日(日) カラオケ会 11時から最大19時
参加費内部・アポロ無料 その他200円(別途
カラオケ費用・食事などは各自負担)

4月29日(土)～5月7日(日) GW 休業
ただし、学習サポート振替・家庭派遣・予約個別
相談・カウンセリング・個別教育予備校 MES は担
当と合意の上で実施いたします。
(※5月6日(土)個別教育予備校 MES は通常実施
します)

GW 休業中にイベントを実施する場合は
ブログ・フェイスブックページ・代表 SNS・事務
所内掲示にて告知いたします。

毎週日曜・月曜 お休み

KSCE 全般もしくは通信に関するお問い合わせ・ご意見は、下記までお願いします。

E-mail の場合 soudan@ksce.jp、TEL/FAX の場合 075-211-0750、郵便は〒604-8005 京都府京都市中
京区三条河原町東入ル恵比須町 439 早川ビル 6F 京都教育サポートセンター KSCE 通信係 まで。

2017年3月10日発行 特定非営利活動法人 京都教育サポートセンター